

169 東京法学院記事 (懸賞迅速論文当選者・討論会予告)

『法学新報』第十二卷五(一三四)号

明治三十五年五月十日

東京法学院記事

○懸賞迅速論文当選者 副島法学士の出題に係る「司法権の意義及び範圍を論ず」の競争論文の撰に当りし者は

一等 鈴 木 菴、秋山常吉、

二等 丸山柯太郎、西田栄次郎、天野宗太郎、廣澤亥之助

三等 松井繁太郎、荻野對助、野村調太郎、秋山利藏

秋山徳三郎、國重貞熊

右の内一等二名の論文は順次本誌寄書欄に収載す(寄書欄参看)

○討論会 仁井田博士の出題に係る左の討論会に付本月十一

日午後一時より開会す同日は仁井田博士批判せらるる筈

甲者あり某所に於て其犬を失ひたるに因り之を連れ来る者に

金五円の謝体を与ふべき旨を新聞紙に広告したり甲者の友人

乙者偶然甲者の犬の途上に徘徊せるを見之を甲者の家に連れ

行きたる後始めて右の新聞紙広告を見たり乙は謝礼を受くる

権利を有するや